



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月8日

上場会社名 大日本塗料株式会社
コード番号 4611 URL <https://www.dnt.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 里 隆幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 永野 達彦 TEL 06-6266-3102

四半期報告書提出予定日 2023年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	17,814	4.2	1,201	71.0	1,362	47.8	910	53.1
2023年3月期第1四半期	17,094	2.6	702	28.0	922	18.8	594	1.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,008百万円 (138.6%) 2023年3月期第1四半期 841百万円 (36.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	32.02	31.83
2023年3月期第1四半期	20.98	20.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	93,868	55,907	56.7	1,871.15
2023年3月期	92,805	55,210	56.1	1,829.75

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 53,210百万円 2023年3月期 52,033百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		25.00	25.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,000	6.2	2,300	29.7	2,400	18.1	1,550	17.1	54.51
通期	75,000	3.0	5,000	26.7	5,200	20.5	3,400	1.7	119.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	29,710,678 株	2023年3月期	29,710,678 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,273,139 株	2023年3月期	1,273,139 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	28,437,539 株	2023年3月期1Q	28,332,737 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、行動制限が解除されたことによる個人消費やインバウンド消費の回復等により、緩やかな景気回復基調となりました。一方で、原材料価格の高止まりやエネルギー価格の高騰、ウクライナ情勢の長期化等の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの経営成績については、売上高は、照明機器事業における好調な推移により、178億1千4百万円（前年同期比 4.2%増）となりました。利益面では、原材料価格の高止まりの影響があるものの、価格は正の進展により、営業利益は12億1百万円（同 4億9千8百万円増）、経常利益は13億6千2百万円（同 4億4千万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億1千万円（同 3億1千5百万円増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[国内塗料事業]

一般用分野では市況は本格的な回復には至らなかったものの、製品ミックスの改善や前期に実施した価格是正により、売上高は前年同期を上回りました。工業用分野では新設住宅着工件数の減少により建材用塗料の需要が大きく減少した一方で、一部市況の回復や価格是正により売上高は前年同期を上回りました。当セグメントの売上高は、当期初に実施した粉体製造子会社の合弁解消に伴う売上高の減少約8億円により前年同期を下回りましたが、利益面への影響は僅少であり営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は127億1百万円（前年同期比 0.8%減）、営業利益は5億8千6百万円（同 2億4千3百万円増）となりました。

[海外塗料事業]

東南アジア地域は、タイでは取引先の生産調整により需要が低調に推移した一方、シンガポール及びマレーシアでは外装建材用塗料の需要が増加し、売上高は増加しました。メキシコは、自動車生産台数の回復により需要が増加しましたが、ペソ高の為替換算の影響により現地通貨における売上高は前年同期並みに留まりました。中国は、日系自動車メーカーの減産影響により需要が減少し、売上高は減少しました。当セグメントとしては、円安の為替換算の影響により、売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は21億2千7百万円（前年同期比 15.3%増）、営業利益は1億5百万円（同 1千万円増）となりました。

[照明機器事業]

業務用LED照明分野では、インバウンドの回復や首都圏再開等を背景に商業施設向けや建築向けを中心に前期に引き続き需要が増加しました。UVランプ分野では、主に半導体関連市場向けに紫外線殺菌用途の需要が増加しました。また、価格是正の進展により、当セグメントの売上高及び営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は22億5千3百万円（前年同期比 27.4%増）、営業利益は4億2千3百万円（同 2億5千4百万円増）となりました。

[蛍光色材事業]

加工品分野ではフィルム製品の需要が増加しましたが、顔料分野では主に海外市況が低迷し、当セグメントの売上高は前期を下回りました。営業利益は、売上高の減少及び電力料などのコスト増加により、前年同期を下回りました。

この結果、売上高は2億8千万円（前年同期比 3.2%減）、営業利益は7百万円（同 1千万円減）となりました。

[その他事業]

物流事業は、取扱量の減少により運送上及び保管売上が前年同期を下回りました。塗装工事業は、市況が緩やかに回復し売上高は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は4億5千1百万円（前年同期比 18.3%増）、営業利益は1千8百万円（同 1千3百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は938億6千8百万円となり、前連結会計年度末と比較して10億6千3百万円の増加となりました。流動資産は383億5千5百万円で前連結会計年度末と比較して2億4千8百万円の減少となりましたが、これは受取手形、売掛金及び契約資産の減少11億2千7百万円、棚卸資産の増加3億8千2百万円、その他の増加3億8千6百万円等が主因であります。固定資産は555億1千3百万円で前連結会計年度末と比較して13億1千2百万円の増加となりましたが、これは有形固定資産の減少3億2千万円、無形固定資産の増加1億3千1百万円、投資その他の資産の増加15億円等が主因であります。

負債は379億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億6千6百万円の増加となりました。流動負債は281億7千8百万円で前連結会計年度末と比較して6千1百万円の減少となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少4億4千万円、短期借入金の増加10億円、未払法人税等の減少4億3千6百万円、その他の減少1億1千2百万円等が主因であります。固定負債は97億8千2百万円で前連結会計年度末と比較して4億2千7百万円の増加となりましたが、これは退職給付に係る負債の減少1億7百万円、繰延税金負債の増加6億2千8百万円等が主因であります。

純資産は559億7百万円で前連結会計年度末と比較して6億9千7百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加1億9千9百万円、その他有価証券評価差額金の増加9億8千8百万円、為替換算調整勘定の増加2億5百万円、退職給付に係る調整累計額の減少2億1千6百万円、非支配株主持分の減少4億8千万円等が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表(2023年5月11日)の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,864	6,856
受取手形、売掛金及び契約資産	14,121	12,993
電子記録債権	5,171	5,280
商品及び製品	5,934	6,271
仕掛品	997	954
原材料及び貯蔵品	4,209	4,297
その他	1,324	1,710
貸倒引当金	△19	△10
流動資産合計	38,604	38,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,145	23,247
減価償却累計額	△15,148	△15,339
建物及び構築物(純額)	7,996	7,907
機械装置及び運搬具	24,164	23,809
減価償却累計額	△20,374	△20,157
機械装置及び運搬具(純額)	3,790	3,652
土地	11,400	11,406
リース資産	1,598	1,598
減価償却累計額	△964	△1,020
リース資産(純額)	634	577
建設仮勘定	144	196
その他	7,403	7,377
減価償却累計額	△5,822	△5,892
その他(純額)	1,580	1,484
有形固定資産合計	25,545	25,225
無形固定資産		
リース資産	74	63
その他	370	512
無形固定資産合計	445	576
投資その他の資産		
投資有価証券	7,728	9,136
繰延税金資産	1,909	1,796
退職給付に係る資産	18,061	18,285
その他	532	516
貸倒引当金	△23	△24
投資その他の資産合計	28,210	29,710
固定資産合計	54,200	55,513
資産合計	92,805	93,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,270	16,830
短期借入金	4,300	5,300
リース債務	505	504
未払法人税等	721	284
役員賞与引当金	55	—
製品補償引当金	215	199
その他	5,172	5,060
流動負債合計	28,240	28,178
固定負債		
長期借入金	700	700
リース債務	672	583
繰延税金負債	5,726	6,354
再評価に係る繰延税金負債	1,189	1,189
退職給付に係る負債	1,016	909
その他	49	44
固定負債合計	9,354	9,782
負債合計	37,594	37,961
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,440	2,440
利益剰余金	32,307	32,506
自己株式	△1,462	△1,462
株主資本合計	42,112	42,311
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,359	4,348
土地再評価差額金	1,717	1,717
為替換算調整勘定	790	996
退職給付に係る調整累計額	4,053	3,836
その他の包括利益累計額合計	9,921	10,899
新株予約権	164	164
非支配株主持分	3,012	2,532
純資産合計	55,210	55,907
負債純資産合計	92,805	93,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	17,094	17,814
売上原価	12,261	12,342
売上総利益	4,833	5,471
販売費及び一般管理費	4,130	4,269
営業利益	702	1,201
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	103	124
為替差益	82	28
その他	73	50
営業外収益合計	263	210
営業外費用		
支払利息	17	22
その他	26	26
営業外費用合計	43	48
経常利益	922	1,362
特別利益		
投資有価証券売却益	—	173
特別利益合計	—	173
特別損失		
固定資産処分損	4	4
減損損失	71	—
特別損失合計	75	4
税金等調整前四半期純利益	847	1,531
法人税、住民税及び事業税	62	174
法人税等調整額	138	407
法人税等合計	200	582
四半期純利益	646	949
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	38
親会社株主に帰属する四半期純利益	594	910

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	646	949
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	988
為替換算調整勘定	628	287
退職給付に係る調整額	△238	△216
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	195	1,059
四半期包括利益	841	2,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	628	1,888
非支配株主に係る四半期包括利益	213	120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、当社と関西ペイント株式会社の連結子会社である久保孝ペイント株式会社との間で2015年1月に粉体塗料製造の合弁事業として設立したジャパンパウダー塗料製造株式会社について、2023年4月1日付で合弁事業を解消しております。また、久保孝ペイント株式会社が保有していた株式を2023年4月27日付で全株取得したことにより、ジャパンパウダー塗料製造株式会社は当社の完全子会社になりました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,810	1,844	1,768	289	16,713	381	17,094	—	17,094
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	266	—	7	23	297	596	893	△893	—
計	13,076	1,844	1,776	313	17,010	977	17,988	△893	17,094
セグメント利益	343	95	169	18	625	32	658	44	702

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額44百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの固定資産の減損損失の計上額は「国内塗料」において71百万円であります。

なお、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,701	2,127	2,253	280	17,363	451	17,814	—	17,814
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	280	—	16	24	321	574	895	△895	—
計	12,982	2,127	2,269	304	17,684	1,025	18,710	△895	17,814
セグメント利益	586	105	423	7	1,124	18	1,142	58	1,201

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等

を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額58百万円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

当社は、2023年6月29日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分を行うことについて決議し、2023年7月20日に下記のとおり払込手続きが完了いたしました。

1. 処分の概要

(1) 払込期日	2023年7月20日
(2) 処分する株式の種類及び数	当社普通株式 18,328株
(3) 処分価額	1株につき 929円
(4) 処分総額	17,026,712円
(5) 処分予定先	当社の取締役 6名 15,020株 (社外取締役を除く) 当社の執行役員 4名 3,308株 (取締役兼務者を除く)
(6) その他	本自己株処分については、金融商品取引法に基づく有価証券通知書を提出しております。

2. 処分の目的及び理由

譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行う目的及び理由は、当社の取締役（社外取締役を除く。）及び当社の執行役員（取締役兼務者を除く。）に、当社の中長期的な業績と企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様とより一層共有し、株価上昇への貢献意欲を従来以上に高めるため、当社の取締役（社外取締役を除く。）及び当社の執行役員（取締役兼務者を除く。）に対し、譲渡制限付株式を割り当てる報酬制度として導入するものであります。